

# 宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 令和4年第2週の発生動向

### トピックス

・**新型コロナウイルス感染症**(新型インフルエンザ等感染症)の報告が614例あり、2022年の累積報告数は684例となった。また、年齢群別では20歳代が全体の約35%を占めた。

### 全数報告の感染症 (2週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 5 例。3 類感染症：報告なし。  
4 類感染症：つつが虫病 1 例。5 類感染症：ウイルス性肝炎 1 例、梅毒 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	20歳代	女	結核性髄膜炎	発熱、頭痛、頸部痛、背部痛、嘔気嘔吐
			80歳代	女	肺結核	なし
			80歳代	男	結核性胸膜炎	発熱
		都城	80歳代	女	肺結核	発熱
		日南	80歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱、呼吸困難
4類	つつが虫病	日南	60歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹
5類	ウイルス性肝炎	宮崎市	10歳代	男	B型	全身倦怠感、褐色尿、肝機能異常、黄疸
	梅毒	宮崎市	50歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹

### 新型コロナウイルス等感染症 (2週までに新たに届出のあったもの)

疾患名	居住地保健所	報告数	年齢群										症状
			10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	
新型コロナウイルス感染症	宮崎市	176例	7	37	47	36	36	6	4	3			発熱、咳、頭痛、全身倦怠感、咽頭痛等
	都城	269例	23	17	105	51	35	20	10	6	1	1	
	延岡	65例	2	20	23	2	9	3		4	2		
	日南	7例			4		2		1				
	小林	15例	1	1	6	5	1		1				
	高鍋	20例	1	3	3	5	6	2					
	日向	31例	2	7	11	2	5	2	1	1			
	中央	7例		1		2	4						
	県外	24例		4	17		3						

### 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は640人(定点当たり18.5)で、前週比129%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は水痘と手足口病であった。

### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

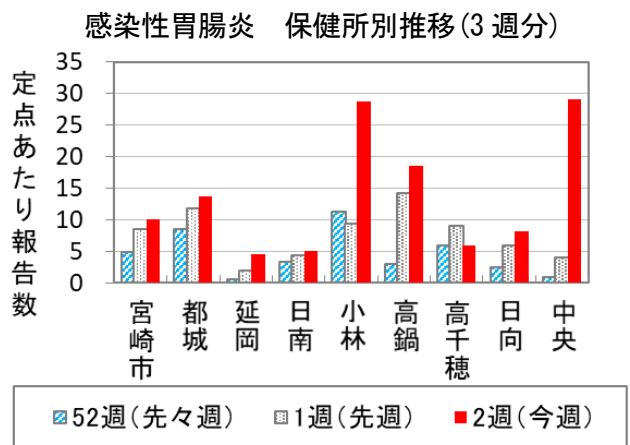
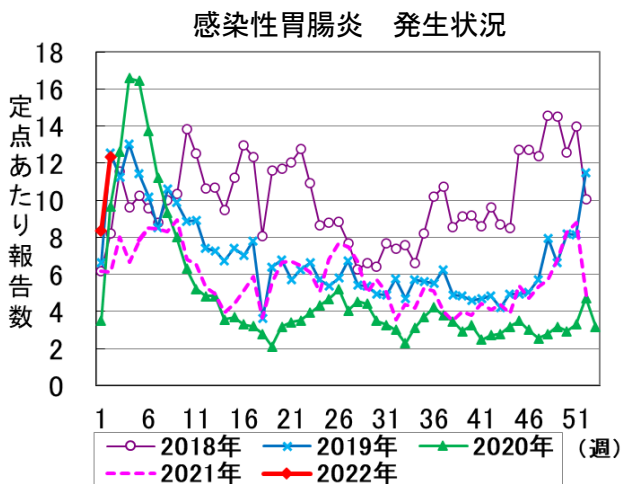
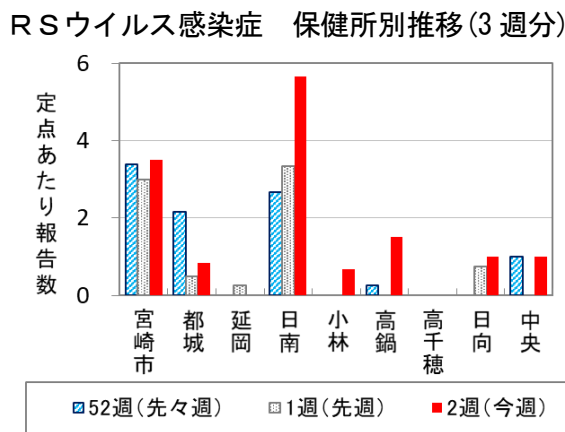
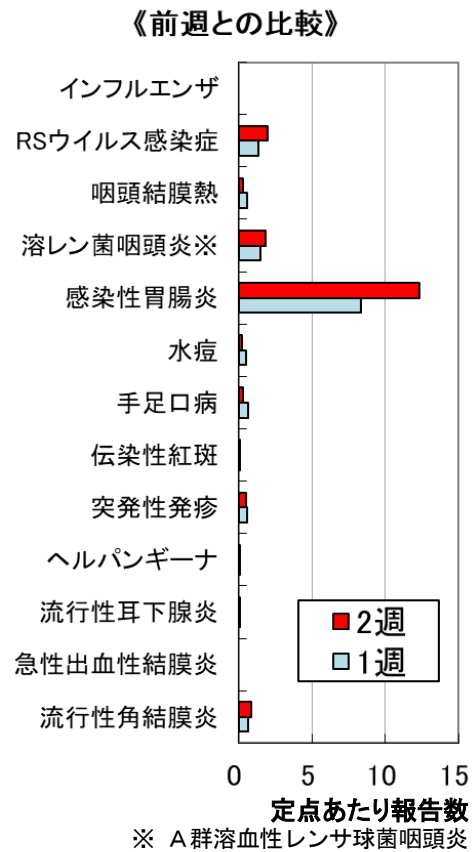
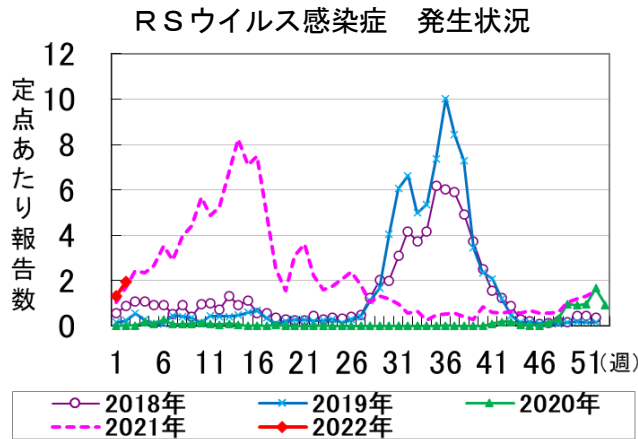
#### 【RSウイルス感染症】

報告数は70人(1.9)で、前週比149%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.74)の約2.6倍であった。日南(5.7)、宮崎市(3.5)、高鍋(1.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は6ヵ月から2歳が全体の約8割を占めた。

【感染性胃腸炎】

報告数は443人(12.3)で、前週比148%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値\*(9.7)の約1.3倍であった。中央(29.0)、小林(28.7)、高鍋(18.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から3歳が全体の約半数を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均



★基幹定点からの報告★ なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(17.0) 水痘(1.0)
小林	感染性胃腸炎(28.7)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	感染性胃腸炎(29.0)、水痘(1.0)

\* 流行警報レベル開始基準値\*  
・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)  
・感染性胃腸炎(20)

\* 流行注意報レベル基準値\*  
・水痘(1)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和4年1月17日までに検出）

★細菌 なし。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
アデノウイルス1型	0～4歳	女	2021.11.04	急性気管支炎、39.1℃、下気道炎(気管支炎)	鼻汁	2022.01.14

🇯🇵 全国 2022 年第 1 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	168 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	15 例				
4類感染症	E型肝炎	4 例	A型肝炎	3 例	回帰熱	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	1 例	つつが虫病	10 例	日本紅斑熱	1 例
	レジオネラ症	29 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	8 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	20 例
	急性脳炎	3 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	12 例	後天性免疫不全症候群	14 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5 例	侵襲性肺炎球菌感染症	21 例	水痘（入院例）	5 例
	梅毒	93 例	播種性クリプトコックス症	1 例	破傷風	1 例
	百日咳	14 例	麻疹	1 例		

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週（年末年始含む）比 111%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は咽頭結膜熱、感染性胃腸炎及び水痘で、減少した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナであった。

感染性胃腸炎の報告数は 14,564 人(4.7)で前週比 113%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\* (5.1)の約 0.9 倍であった。大分県(9.7)、宮崎県(8.3)、熊本県(7.8)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 3 歳が全体の約半数を占めた。

手足口病の報告数は 1,168 人(0.37)で前週比 80%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\* (0.19)の約 1.9 倍であった。鹿児島県(2.5)、沖縄県(2.2)、鳥取県(1.9)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 3 歳が全体の約 8 割を占めた。

\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

## 月報告対象疾患の発生動向 <2021年12月>

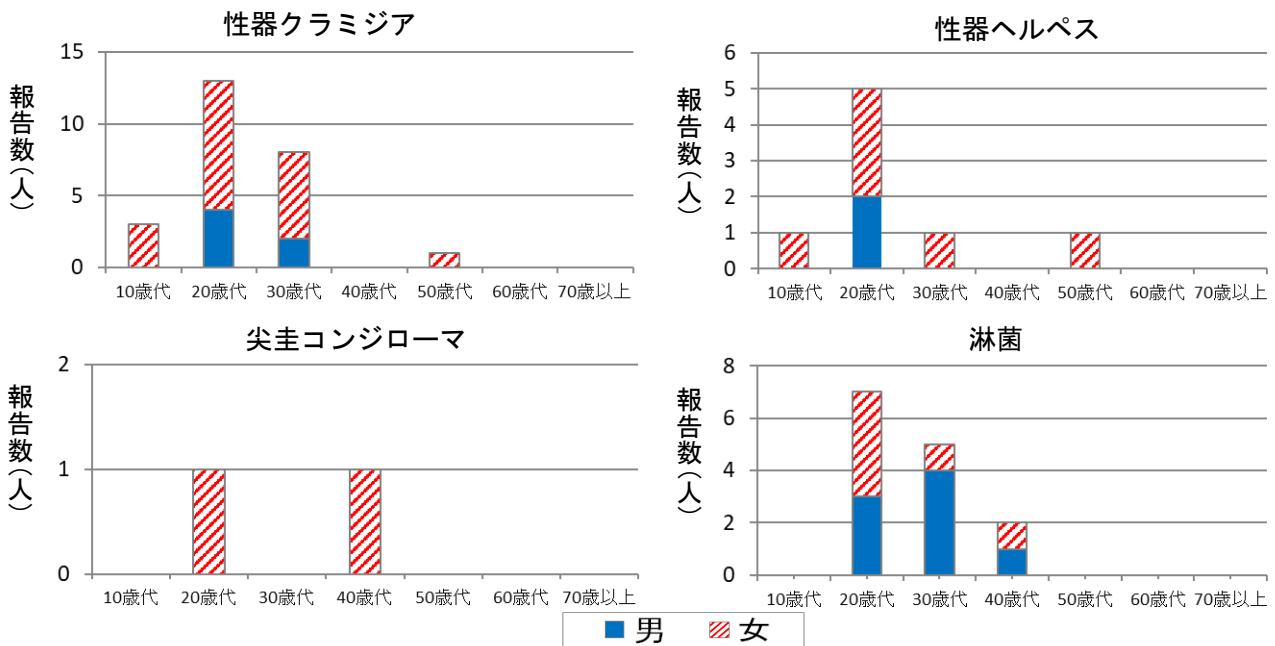
### □性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は49人(3.8)で、前月比104%とほぼ横ばいであった。また、昨年12月(2.5)の約1.5倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数25人(1.9)で、前月とほぼ同率、昨年12月の約1.7倍であった。20歳代が全体の約半数を占めた。(男性6人・女性19人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数8人(0.62)で、前月の約0.7倍、昨年12月の約0.9倍であった。(男性2人・女性6人)
- 尖圭コンジローマ：報告数2人(0.15)で、前月の2.0倍、昨年12月と同率であった。(女性2人)
- 淋菌感染症：報告数14人(1.1)で前月の約1.3倍、昨年12月の約2.3倍であった。(男性8人・女性6人)



【全国】

定点医療機関からの報告総数は4,566人(4.7)で、前月比98%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,450人(2.5)で前月比99%、性器ヘルペスウイルス感染症797人(0.81)で前月比98%、尖圭コンジローマ428人(0.44)で前月比90%、淋菌感染症891人(0.91)で前月比99%であった。

### □薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は16人(2.3)で、前月比76%と減少した。また、昨年12月(2.4)の94%であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数16人(2.3)で、前月の約0.8倍、昨年12月の約0.9倍であった。70歳以上が全体の約6割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】

定点医療機関からの報告総数は1,268人(2.7)で、前月比102%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,191人(2.5)で前月比103%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症63人(0.13)で前月比93%、薬剤耐性緑膿菌感染症14人(0.03)で前月比100%であった。

## 宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2022年 第02週(01月10日～01月16日)

疾病名		第1週	第2週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	47	70	35	5		17	2	6		4	1
	定点当り	1.31	1.94	3.50	0.83	0.00	5.67	0.67	1.50	0.00	1.00	1.00
咽頭結膜熱	報告数	21	11	3		2			4		2	
	定点当り	0.58	0.31	0.30	0.00	0.50	0.00	0.00	1.00	0.00	0.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	54	66	6	2	3	51		3		1	
	定点当り	1.50	1.83	0.60	0.33	0.75	17.00	0.00	0.75	0.00	0.25	0.00
感染性胃腸炎	報告数	300	443	100	82	18	15	86	74	6	33	29
	定点当り	8.33	12.31	10.00	13.67	4.50	5.00	28.67	18.50	6.00	8.25	29.00
水痘	報告数	18	7	1	1		3				1	1
	定点当り	0.50	0.19	0.10	0.17	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.25	1.00
手足口病	報告数	24	10	3	1		3				3	
	定点当り	0.67	0.28	0.30	0.17	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.75	0.00
伝染性紅斑	報告数	1	2		2							
	定点当り	0.03	0.06	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	21	19	14	2		1		1		1	
	定点当り	0.58	0.53	1.40	0.33	0.00	0.33	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	4	3		1						2	
	定点当り	0.11	0.08	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	4		1	3						
	定点当り	0.03	0.11	0.00	0.17	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	4	5	4	1							
	定点当り	0.67	0.83	1.33	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

## ●全数把握対象疾患累積報告数(2022年第2週)

2類感染症	結核	6例(5)	
4類感染症	つつが虫病	5例(1)	レジオネラ症 1例
5類感染症	ウイルス性肝炎	1例(1)	梅毒 2例(1)
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	684例(614)	

( )内は今週届出分、再掲